



蒲郡記者クラブ 各位

博物館長

企画展「がまごおりとみかん展 -がまごおりは何故 みかんが有名なのか-」を開催します

蒲郡市の特産品として全国に広く知られているみかん。明治時代には「神ノ郷みかん」「西郡みかん」としてすでに近隣では有名でした。ハウスみかん栽培の導入、マルチ栽培による「箱入り娘」を誕生させるなど、蒲郡の農家は今日のブランドを確立していきました。有名なのに意外と知らない、がまごおりとみかんの歴史を紹介します。

記

日 時 2月15日（土）～3月23日（日）

場 所 蒲郡市博物館 1階特別展示室

○学芸員によるギャラリートーク

日 時 2月23日（日）午後1時30分～

問合先 蒲郡市博物館（松田）

電話 0533-68-1881



市制70周年記念企画展
「がまごおりとみかん展-がまごおりは何故みかんが有名なのか-」の
開催につきまして

・令和7年2月15日(土)～3月23日(日)に、市制70周年記念企画展「がまごおりとみかん-がまごおりは何故みかんが有名なのか-」を開催します。

・蒲郡の特産品として、市民はもとより全国に広く知られているみかん。博物館ではこれまで、地域の産業をテーマに平成15年度に蒲郡の農業、平成18年度に蒲郡の漁業を紹介、令和3年度には民具を扱った「まる・まわる・まわす」展などを開催してきました。また、地域ごとの歴史の中で産業を取り上げましたが、みかんを単体で取り上げた企画展は初となります。

・蒲郡で栽培されたみかんは、明治時代には「神ノ郷みかん」「西郡みかん」としてすでに近隣では有名でした。戦後に市がみかんを基幹作物に指定すると、昭和30年代後半に農業構造改善事業が推進されて生産量が急増。同40年代に過剰生産で価格が暴落するとハウスみかん栽培の導入、また高品質みかんとしてマルチ栽培による「箱入り娘」を誕生させるなど、蒲郡の農家は困難な世相に立ち向かい今日の蒲郡ブランドを確立していきました。有名なのに意外と知らない、がまごおりとみかんの歴史をご紹介します。

・展示の目玉の一つは、蒲郡高校所蔵資料です。大正2年に宝飯郡立西部農学校として開校後、昭和46年3月の蒲郡高校農業科廃止までの間、多くの学生が農業の基礎を学び、後に蒲郡で就農した方々がみかん栽培発展の中核を担いました。今回は蒲郡高校のご協力で、農学校時代に開拓された五井農園の貴重な資料などをお借りし展示します。

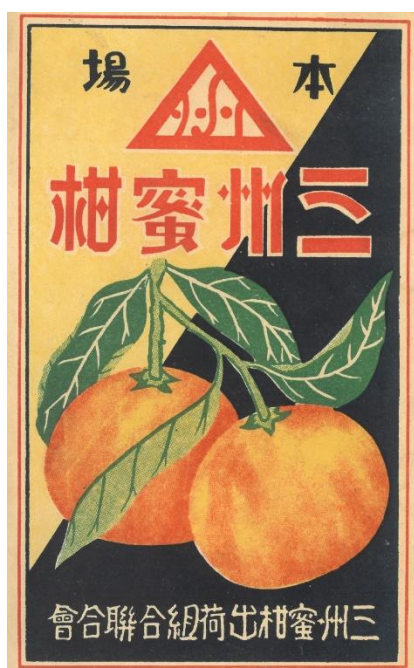
・関連事業として、2月23日(日)13:30から学芸員によるギャラリートークを行います。

・同時開催として、1階エントランスホールにて【ひなまつりスタンプラリー】を開催します。ひな祭り関連の展示を行う県内34館の施設をめぐるスタンプラリーで、3館、ブロック(6～7館)など、集めたシールの数に応じて景品を差し上げます。

・開運イベント「招き猫版画差し上げます」。2月22日(土)は「にゃんにゃんにゃん」で猫の日！1階エントランスホールで、江戸時代の版木を使ったメデタイ「招き猫版画」をお配りします。今年は市制70周年に合わせて、限定70枚をご用意いたします。



宝飯郡実業学校
(のちの蒲郡高校)
農園実習風景【大正9年】



みかんの出荷用木箱に
貼られたラベル
【昭和5年以降】



ミカンの収穫【昭和27年頃】



みかんを運ぶ牛車と新幹線線路神ノ郷【昭和39年】